

# 直接的な人権課題（子どもの人権）を取り上げた授業づくり

## <実践例 中学校第2学年 総合的な学習の時間「インターネットと自分」>

### 1. 指導にあたって

#### (1) 題材について

インターネットを通じてのメールやSNSは社会に普及している。中学生の中でも同様だ。快適な生活を現実のものとした一方で、メールやSNSを通じての犯罪やいじめが多発し、社会問題となっている。中学生が加害者にも被害者にもなり得る現状に、私たち教職員だけでなく、家庭や地域の大人達も危機感を抱いている。中学生は便利で興味を引くコンピュータや携帯電話を簡単に受け入れる柔軟性がある。しかし、成長過程にある彼らは十分に正しい知識がなかったり、正しい判断ができなかったりすることもしばしばである。そうした姿から、相手の見えないデジタルの世界において、自分の言動がどのような危険性をもっているのかを考えないで使用するおそれがある。また、メールや掲示板を通して人を深く傷つけてしまったり、互いを陥れようとしたりすることも考えられる。最近では、LINEを使ったトラブルが実際に問題となったことがあり、今後もこのような問題が拡大していく可能性は十分にあると考えられる。したがって、コンピュータや携帯電話・スマートフォン等を多くの生徒が使用し始める中学生時に、その使い方やマナーだけでなく、利便性の裏側にある危険性を学習しておく必要がある。

本主題では、インターネット利用における危険性を知り、誰もが人を傷つけてしまう可能性があることに気づかせたい。また、自分の身近な問題としてとらえ、何気ない噂を書き込んだり、目撃したりすることは自分にも起こりうることである。そのことから、自分の中にある弱さや心ない言動をとってしまふみにくさを乗り越え、互いによりよく生きていくことができる生活や社会をつくり出そうとする態度を養いたい。

#### (2) 留意点

今やインターネットを使ったコミュニケーション・ツールは、日進月歩で発展しているといつてよい。例えば、つい近年までは主流であった「掲示板」は、現在はSNSが主流となってきている。あるSNSでは、昨年は「いいね!」しかなかったリアクション方法に、今年になって「うけるね」「悲しいね」「ひどいね」などが追加された。そのように、SNS自体が変化をしていけば、現在問題とされていることでも、数か月後には色あせてしまう可能性がある。もちろん、年月が経てば、生徒の感覚とのズレが出てきたり、新たな問題が起こったりすることも考えられる。

したがって、「インターネットの人権問題」を取り扱う授業では、「インターネットをどう使うか」という指導で終わるのではなく、誰も見ていないところでつい心無いことをしてしまう「自己の弱さ」を見つめさせることや、どんな場面でも「相手の気持ちを考えて行動できる力」を身に付けさせることが重要である。

また、教師自身が、現在のコミュニケーション・ツールを使用したり、生徒たちとの会話から情報を得たりするなど、新たなインターネットの人権問題に敏感になることも重要である。

インターネットを取り巻く状況は生物であることを念頭におき、指導の計画を作成したい。

#### (3) 主題にかかわる育てたい力について

- ① インターネットの掲示板やメール、SNS等による人権問題の存在を知り、重大な社会問題であることがわかる。(認識力)
- ② 自分の心の中にも、悪口を言ったり、うわさ話に便乗したりするなど相手の気持ちを考えない弱さがあり、それを克服しようとする意欲をもつことができる。(自己啓発力)
- ③ 自分のこれまでの生活をみつめ直し、周りに流されることなく相手の立場になって考え行動できる。(行動力)

## 2. 実践

### (1) 本時のねらい

人間の中にある弱さに気づき、それを克服していくために、相手の立場に立って考えることができる。

### (2) 展開の実際

学習活動	指導・援助
<p>1 前時までの学習を振り返り、ビデオ（「ネットいじめに向き合うために」NHK出版 第3話「ネットいじめ」）を視聴する。</p> <div data-bbox="248 432 868 477" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><b>もしあなたならどんなコメントをしますか</b></div> <p>2 ビデオ内の掲示板でのやり取りの際に、どんなコメントを書くか考え、コメントを書き、黒板に貼る。 ○コメントを分類してみよう。 ○3つのそれぞれの立場の人がどんな気持ちでコメントしたか考えてみよう。</p> <p>3 コメントを分類して、どんな弱さがあるのかに気付く。</p> <p><u>A 掲示板に同じような書き込みをしてしまうかもしれない</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・掲示板が盛り上がると楽しい。</li><li>・友達同士の「雰囲気」で書き込みをする。</li><li>・本人にはばれないと思って調子に乗って書き込みをする。 (善悪の判断ではなく、自分の楽しみだけで判断してしまう弱さ) (掲示板をやっている仲間との関係を気にしてしまう弱さ)</li></ul> <p><u>B 存在を知っても関わりたくない</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・友達であってもあまり巻き込まれたくない。</li><li>・入ったことで自分が攻撃されたいやだ。 (傷つけられている仲間よりも自己防衛に走ってしまう弱さ) (自分のことではないと、仲間の気持ちを考えることのできない弱さ)</li></ul> <p><u>C 掲示板への書き込みをやめるように伝える</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・友達を見捨てることはできない。</li><li>・こんな掲示板を見たくない。</li><li>・もし自分がこんなことになったら嫌だから。</li></ul> <p>4 授業の最初に書いた自分のコメントと、授業で学んだあとの気持ちの変化を書く。</p> <p>自分のコメントについて振り返る</p> <p>5 本時の学習を通して インターネットという相手の表情の見えないところで、ノリや雰囲気などの軽はずみな行動や言動、自己防衛のための行動などの弱さに気付く。</p> <div data-bbox="113 1955 1002 2123" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>・自分のコメントは、自分を守るためのコメントで、相手の立場を全く考えていなかった。</li><li>・掲示板の雰囲気に流されて、コメントをしていた自分は、相手の気持ちを全く考えていなかった。</li></ul></div>	<ul style="list-style-type: none"><li>・前時に学習した内容を振り返り、インターネット上での軽はずみな言動が人生を変えてしまうほどの可能性があることを、生徒の感想を広めることで反省を用いて再認識させる。</li><li>・克服できる自分になるために、弱さに気付かせる。</li><li>・一人ひとりに弱さがあることに気付かせるために、「このままでいいのか」という問いかけをし、生徒の気持ちの変化を促す。</li><li>・薄っぺらい正義感ではなく、仲間のためを思った真の行動がとれるかどうか、生徒に考えさせるために、「本当にできるだろうか」と生徒の気持ちに揺さぶりをかける。</li><li>・もし自分が書かれていたら、どうして欲しいのか、という視点からも考えさせる。</li></ul>

### 3. 成果と課題

- 事前のアンケートや日常の生徒づかみから、一人一人の生徒がどのような気持ちをもっているのか、誰がどのようにSNSを使用しているのか等について、きめ細かく把握したことで、生徒の本音に迫ることができた。
- それぞれの立場の生徒の発言に対して、教師が耳を傾け、曖昧な部分については問い返しをすることで、より実感のこもった発言を引き出すことができた。

#### 問い返しの例

A 「掲示板が盛り上がると楽しい。」→楽しいとはどんな楽しさなのか。

「本人にばれないと思って書き込みをする。」→ばれなければいいと思うことについてどう思うのか。

B 「友達であっても巻き込まれたくない。」→もし自分がそう思われたらどう思うのか。

「自分が攻撃されたらいやだ。」→もし自分が攻撃されていて、そう思われていたらどう思うのか。

### 4. 資料

#### (1) 指導計画

学習の流れ	ねらい	活用資料
第1時 インターネットに関わる人権問題の導入	インターネットによる人権問題の存在を知り、思いつきや、軽い気持ちでした行為が大きな問題につながる危険性があることを知る。	アンケート結果 ビデオ「やめようネットでそと悪口」
第2時 「新聞記事のこと」 ネットいじめの重大性	掲示板やメールを利用した軽はずみな言動が相手を簡単に傷つけ、人生をも変えてしまうほど追い込む可能性があることを再認識できる。	前時の生徒の感想 資料「新聞記事」
第3時 相手の気持ちを考える	嫉妬心や劣等感から掲示板に中傷の書き込みをされた亜紀の気持ちを考え、それは人権を侵害する許されない行為であることを知る。	前時の生徒の感想 資料「夕映えのみち」
第4時【本時】 自分の弱さを見つめる	掲示板の書き込みに便乗する行為も、相手を深く傷つけることにつながる行為であることや自分にも相手を傷つけてしまう心の弱さがあることを知り、自分自身を見つめることができる。	前時の生徒の感想 資料「ネットいじめに向き合うために」NHK出版 第3話「ネットいじめ」
第5時 これからの自分	自分のこれまでの生活を振り返り、悪口やうわさ話を言ったり広げたりすることなく、相手の立場に立って考え、行動できるようになりたいという決意をする。	前時の生徒の感想

#### 【仮想 掲示板の場面】

佳奈って、自分のことかわいい。って思っているところがイヤ!

賛成!!あのかわいいアピールちょっとざいよね!!

つーかあの女!何回もメールしてなのに返信ねえし、マジムカつく。

ムカつく!ムカつく!マジムカつく!

ウザい!ウザい!ウザい!

キモイ!キモイ!キモイ!

学校来るな!学校来るな!学校来るな!

**もしあなたならどんなコメントをしますか。**